


【法人情報】

(令和4年12月1日現在)

法人名	NPO法人子育て応援隊むぎぐみ 放課後等デイサービスFlos	法人設立	平成20年10月	
代表者	高濱正伸	連絡先	048-844-1122	
法人所在地	埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9-2F	メール	jimukyoku@mugigumi.or.jp	
代表者より一言	放課後等デイサービスFlosは、特別な支援が必要な子どもたちを支える療育施設です。さいたま市南浦和にて2005年から現在まで、地域に根差して支援を提供してきました。17年間培ってきた高い専門性や花まる学習会グループの教育ノウハウを活かして、障害を持つ子どもたちの可能性を伸ばし、地域で孤かな子育てに悩む保護者を支え、障がいの子を持つ家族が安心して暮らせる地域を作ることを目指して活動しています。			

【運営施設・事業所等】

施設・事業所名	提供サービス	所在地
子育て支援部門	子育て支援	埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9-2F
心理相談部門 心の相談室Sali	心理相談	埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9-2F
発達支援部門 放課後等デイサービスFlos	放課後等デイサービス	埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9-2F
コンサート部門	バリアフリーコンサート	埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9-2F

【こんな仕事をしています】



職種	児童発達支援 管理責任者
	1年目

仕事の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある就学児への生活面や学習面の支援・サポート ・ 保護者対応 ・ 個別支援計画の作成、更新 ・ 関係機関との関係構築 ・ 施設の運営・管理等
-------	---

仕事のやりがい

児童発達支援管理責任者の一番のやりがいは、子ども一人ひとりと向き合えることです。その子に合わせて計画や課題を楽しみながら考えられるのがやりがいです。子どもの障がいの状態はさまざまのため、一人ひとりとしっかりと向き合う必要があります。子どもと向き合うためには、周りのサポートも必要です。保護者や学校、その他関係機関、地域と連携し、サポート体制ができあがったときは、達成感があります。また、そうしたサポートを通じて自身にも学びがあります。さらに子どもたちが「できたよ！」と笑顔になっている姿を見たり、子どもの成長を感じることができたとき「この仕事に就いて良かった！」と日々感動しています。

法人・事業所の好きなおとこ

とにかくみんな優しく楽しいです！
上司が話しやすくいつでも相談に乗っていただき、スタッフ同士も仲が良いので、チームで協力して療育支援をしているという実感があります。
Flosでは、スタッフの意見を尊重し、いろいろなことに挑戦させていただけるので、現場の状況に合わせて、みんなで協力して良い方向に変えていけるのもやりがいに繋がっていると思います。
今は「ここで働いてよかった！」とFlosで働けることにいつも感謝しています。

NPO法人子育て応援隊むぎぐみ組織図

NPO法人子育て応援隊むぎぐみには以下の4つの部門があります。

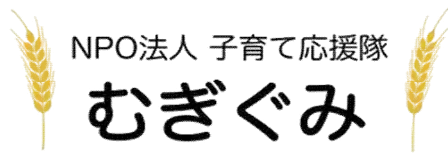
子育て支援部門	心理相談部門 心の相談室Sali	療育支援相談部門 放課後等デイサービスFlos	コンサート部門
---------	---------------------	----------------------------	---------



放課後等
デイサービス



【法人の事業内容等の紹介】

放課後等
デイサービス

放課後等デイサービスFlosは、花まるグループの療育支援部門として、2005年よりさいたま市で子どもたちの発達を支えてきた組織です。2022年からは放課後等デイサービスとして、6歳～18歳の発達特性を持つ子どもたちの支援を行っており、臨床心理士・公認心理師・保育士など子どもの支援の専門家達が、それぞれの専門性を活かして丁寧な聞き取りやアセスメント（心理査定・分析）を行い、一人ひとりのお子さま、そして保護者の皆さまのニーズに合った支援を提供しています。

主な業務は、お子さまへの個別支援、グループ支援（SST）の2つです。職員はそれぞれ担当児童を持ち、支援プログラムの作成から保護者対応までを行います。個別支援では、学習支援や認知能力の支援だけでなく、カウンセリングや日常生活動作の支援まで幅広いプログラムを提供します。グループ支援では、児童5名に対して職員3名がチームとなり、Flos独自のソーシャル・スキル・トレーニングプログラムを提供します。また、子どもや保護者へのカウンセリング、ペアレント・トレーニング・プログラム、心理検査も実施しております。

職員は、豊富な職員研修の機会と実践を通じて、子ども達への様々な支援技術を学びながら、子どもの支援の専門家としてスキルアップすることができます。療育の経験がある方、障害のある子どもたちの支援に興味がある方を歓迎いたします。

放課後等 デイサービス Flosの活動	子ども：個別支援、グループ支援、心理カウンセリング。 保護者：保護者個別相談、保護者グループ、 関係機関：関係機関連携、講師派遣など。 イベント：長期休暇宿題企画、クリスマス会など
---------------------------	---

職種の例	児童指導員、保育士、心理指導員、児童発達支援管理責任者、公認心理師、臨床心理士、など
福利厚生	年間休日115日、週休2日制（イベントの休日出勤は振替休日取得）、夏季休暇（公休日を除いた4日）、GW休暇、年末年始休暇、有給休暇、特別休暇、産休・育休取得実績あり。賞与年2回。健康保険、厚生年金。



個別支援

6歳～18歳までまでの学習、行動、社会性などの面で苦手さをお持ちのお子様を対象とした、1対1の個別支援プログラムです。保護者の方と話し合っって年間の支援目標を定め、お子様に合わせた支援プログラムを個別に作成し、提供します。学習の支援だけでなく、応用行動分析や認知行動療法といった心理療法の諸理論に基づき、お子様の認知能力や社会情動的能力を高め、適切なソーシャルスキルの獲得するためのアプローチを行います。

グループ支援

小学校1～4年生を対象にした、ソーシャル・スキル・トレーニンググループです。学校生活や家庭で求められる《社会性・自己コントロール・自己主張・集団行動・自己理解・他者理解》などの発達を支援いたします。一回のグループ支援の中で、身体運動と感情の統制を目的とした感覚統合と、対人コミュニケーションスキルの獲得を目的としたトレーニングを実施します。子どもたちは、毎週固定したグループで支援を受けながらお互いを支え合うことで、実際の社会生活の中でも自らを適切に表現できる力を育みます。

グループ支援の流れ

実践タイム (ゲームの時間)	活動①②より、自由度の高い活動です。前回学んだスキルの復習をする時間となります。この時間に保護者の皆さまからお話を伺うことができます。
始まりの会	グループ活動に向けて気持ちを切り替え、一日の活動の流れを共有します。
活動① (ソーシャル・スキル・トレーニング)	対人コミュニケーションスキルの獲得を目的としたグループ活動を実施します。身体を動かす活動の中で、コミュニケーションスキルの獲得や身体感覚の統合と感情のコントロールを目標としています。
休憩	トイレ、水分補給などに加え、気持ちの切り替えを行います。
活動② (ソーシャル・スキル・トレーニング)	対人コミュニケーションスキルの獲得を目的としたグループ活動を実施します。ゲーム活動の中で、社会生活において必要な、話を聞く姿勢、ルールの理解、感情のコントロール、他者との協力、などのスキルを学んでいきます。 ※スキルは一例になります。
終わりの会	グループ活動を振り返り、活動の中で良かったところなどを講師からお子様へフィードバックします。
実践タイム (ゲームの時間)	活動①②より、自由度の高い活動です。今回学んだことの練習をする時間となります。この時間に保護者の皆さまへ支援内容のフィードバックを行います。

心理相談と保護者支援

放課後等デイサービスFlosの相談室には、毎月多くの方が子育ての相談に訪れます。利用児童の生活面、学習面、心理面など様々な悩みに対して、公認心理師、臨床心理士の資格を持つスタッフが心理相談を行い、子育てに悩む保護者自身の心を支えることで、ご家庭での暖かな親子の関りを促し、発達に特性を持つ子どもたちの可能性を伸ばす手助けをしています。

心理相談では、子どもたちの居場所において、子どもたちにどのような関りをして、どのような環境を整えることが適切であるかを保護者の皆さまと共に考えることも大切な役割です。

また、むぎぐみの心理相談部門と提携して、心理検査やペアレント・トレーニングなどの専門プログラムも提供しております。

